

漢詩・漢文を楽しむ

杜甫 魅力再発見



講師からひとこと……中学・高校で習った漢詩・漢文を中心として、最新の研究成果を参照しながら読み直します。今シリーズは杜甫を取り上げます。

杜甫は、自ら「人生は哀楽半ばにして、天地に順逆有り」というように、戦乱の世に漂泊する日々の中でも、数々の喜びを見つけて生き抜きました。杜甫の魅力を再発見しましょう。

期間：2023年5月～10月（日時は要点参照）

午後2時～4時

会場：国労大阪会館 第2小会議室

募集：35名（5/7申込締切）

*多数の場合は抽選。結果は連絡先に通知。

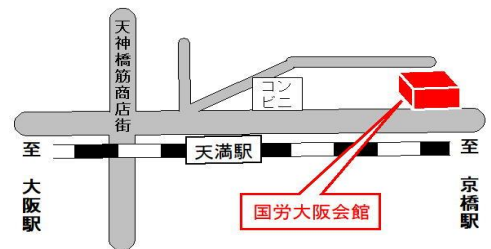
参加費：1000円/回

講師： 下定 雅弘 氏

（岡山大学名誉教授・日本杜甫学会会長）

<会場地図 国労大阪会館>

（JR環状線 天満駅下車 180m）



*申込みは、5/7までに下記の電話、FAX、E-mail宛にお願いします。

回	日時	講義の要点	回	日時	講義の要点
1	5/28	安史の乱が勃発：「春望」「感時花濺淚、恨別鳥驚心」をどう読むか。「月夜」、妻と再会する日の涙を想う。	4	8/27	長安に帰る途中、病のため夔州に滞留：「詠懷古跡」、諸葛亮を思う。「登高」「風急に天高くして猿嘯くこと哀し」他。
2	6/25	天子の側近、そして地方へ左遷されて：「曲江二首」其一「一片の花飛びてさえ春を滅却するに」、「三吏三別」。	5	9/24	夔州を去って：「旅夜書懷」、「登岳陽樓」「昔聞く洞庭の水、今上る岳陽樓」他。
3	7/9	成都での幸せ：「江村」、妻と暮を打つ。「絶句漫興」、春がにうれしい。	6	10/22	最期の日々：「江南逢李龜年」「正に是れ江南の好風景、落花の時節又た君に逢う」他。

主催・問合せ先：日中友好協会大阪府連 530-0012 大阪市北区芝田 2-3-19 東洋ビル本館 207号
電話 06-6372-8131 FAX06-6372-8132 E-mail info@jcfaosaka.org

2023年 月 日 漢詩・漢文講座を申込みます。

氏名	(会員・非会員)		連絡先	
電話		E-mail		
郵便番号		住所		

*申込者の[連絡先]については、主催者からの申込み結果を速やかに受理できるものを記入してください。